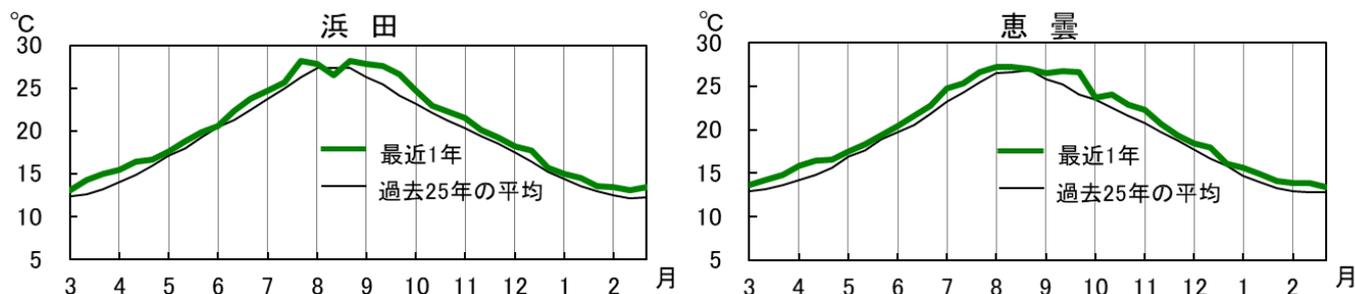




《2月の海況》



2月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	かなり高め	13.4	+1.1	かなり高め	13.7℃	+0.9
中旬	やや高め			かなり高め		
下旬	かなり高め			やや高め		



《2月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1割、マアジは平年の4割でした。隠岐地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は87.1トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は3,056トンで平年の2.3倍、マアジは1,191トンで平年の1.2倍となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は400kgと平年の約1.2倍、西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は163.5kgと平年の約2倍の水揚げでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアナゴ・ハモ類、キダイ、ソウハチ主体の漁況で、総漁獲量は220トンでした。1統1航海当りの漁獲量は12.2トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、アナゴ・ハモ類は平年の3.2倍、キダイは平年の1.3倍、ソウハチは平年の1.7倍でした。その他、マダイは平年の3.0倍、アカムツは平年の2.0倍、マアジは平年の1.9倍、アンコウ類は平年の1.1倍、エソ類は平年の1.0倍、マフグは平年の2割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではアカガレイ、ソウハチ、ヒレグロ主体の漁況で、総漁獲量は198トンでした。1統1航海当りの漁獲量は919kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アカガレイは平年の5割、ソウハチは平年の6割、ヒレグロは平年の7割でした。その他、マフグは平年の6.4倍、キダイおよびアンコウ類は平年の1.0倍、ニギスは平年の7割、アナゴ・ハモ類は平年の6割、アカムツは平年の5割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではマイワシ、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は24.3トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは平年の2.5倍、ブリは平年の1.4倍でした。石見地区ではマイワシ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は14.1トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシが平年の50.8倍でした。隠岐地区ではサバ類、マイワシ、スルメイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は20.6トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の36.7倍、マイワシは平年の236倍、スルメイカは平年の1割でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は41.1kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の8割でした。石見地区ではブリ、サワラ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は23.7kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.1倍、サワラは平年の5割でした。隠岐地区では、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は28.6kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.5倍でした。

【令和6年2月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	サバ類、マアジ	4,963トン	69%	123%	87.1トン	87%	162%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	4.0トン	2382%	51%	400 kg	476%	121%
	西郷	スルメイカ	0.7トン	151%	22%	163.5 kg	303%	206%
沖合 底びき網	浜田	アナゴ・ハモ類、キダイ、ソウハチ	220トン	97%	87%	12.2トン	75%	95%
小型 底びき網	大田	アカガレイ、ソウハチ、ヒレグロ	198トン	67%	64%	919 kg	92%	86%
定置網 (大型)	出雲	マイワシ、ブリ	219トン	80%	136%	24.3トン	71%	120%
	石見	マイワシ	42.3トン	515%	351%	14.1トン	515%	352%
	隠岐	サバ類、マイワシ、スルメイカ	41.2トン	146%	91%	20.6トン	146%	91%
釣り・縄	出雲	ブリ	29.3トン	93%	78%	41.1kg	123%	91%
	石見	ブリ、サワラ	15.4トン	87%	63%	23.7kg	107%	77%
	隠岐	ブリ	14.1トン	97%	74%	28.6kg	143%	90%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ